

**令和6年第5回 岩沼市議会定例会
一般質問通告一覧表**

質問 順番	議席 番号	議員氏名	質問事項及びその要旨	答弁者
1	5	植 田 美枝子	<u>水道事業について</u> 1. 水道管の現状について (1) 市内の水道管の総延長はどれほどか伺う。 (2) 水道管の耐用年数は何年か伺う。 (3) 老朽化対策はどこまで進んでいるのか伺う。 (4) 老朽化対策をするためにはアセットマネジメントが重要だと思うが長期計画の策定はあるのか伺う。 (5) 物価高騰などによって、老朽化対策への影響はあるのか伺う。 (6) 計画的な老朽管の布設替え工事だけでなく、バックアップ体制も必要と思うがどうか伺う。 2. 水道料金について (1) 全国的に比較すると、宮城県の水道料金（平均料金）のランキングは何位か伺う。 (2) 県内での当市のランキングは何位か伺う。 (3) 施設更新には莫大な費用がかかると考えられるが、長期的な水道料金の改定計画を策定してはどうか伺う。 3. 水道管のメンテナンス作業について (1) 点検は、具体的にいつどのように行われているのか伺う。 (2) 管の清掃は、いつどのように行われているのか伺う。 (3) 水道事業に従事する技術系職員の高齢化による水道技術の継承が全国的に大きな問題となっているが、当市にも当てはまるのか伺う。 (4) メンテナンスの努力をもっと市民に知らせるべきと思うがどうか伺う。 4. 玉崎浄水場について (1) 昭和44年から給水を開始して50年以上経過しているが、現状はどうか伺う。 (2) 平成21年に機能診断をしているが、その後の実施はあるのか伺う。 (3) これからの浄水場運用についてどのように考えているか伺う。 (4) 施設の更新に向けて積立てをすべきと思うがどうか伺う。	市 長

(同)	5	植 田 美枝子	5. 能登半島地震を踏まえて、国土交通省は今年の3月末に全国の自治体を対象に、避難所や病院、自治体の庁舎など、災害時に重要な拠点となる施設につながる水道管などの耐震化の実態調査を行った。 (1) 当市での、災害時における重要給水施設と位置づけられる施設の内容と場所を伺う。 (2) 調査の結果を伺う。 (3) 今後の対策について伺う。	市 長
			<u>マイナ保険証とマイナンバーカードについて</u> 1. 市民からの問い合わせや対応について (1) 問い合わせ件数と内容を伺う。 (2) 健康保険証の新規発行ができなくなることを、健康保険証が使用できなくなると勘違いしている人が少なくないという。当市ではどうか伺う。 (3) 資格確認書と資格情報のお知らせは、分かりにくく、紛らわしい。広報で分かりやすく掲載してはどうか伺う。 (4) マイナ保険証にしたから健康保険証は捨てたという人もいるとの報道がある。有効期限のあるうちは手元に置いておくようにしっかり伝えるべきと思うがどうか伺う。 2. 施設に入っている人のマイナンバーカードの発行について、丁寧な配慮が必要と思うがどうか伺う。	市 長
2	10	渡 辺 ふさ子	<u>市民会館駐車場の運用について</u> 1. 市政報告にある市民会館駐車場の運営改善について (1) 大規模イベント時の東側駐車場の出庫渋滞の対策について ① 誘導員の配置、事前精算機の増設、案内看板の設置等を講じてきたと報告があった。費用負担はすべて事業者（タイムズ 24 株式会社）によるものか伺う。 ② 渋滞時にバーが上がり、無料で出られたとの市民からの話を聞いている。誰が判断し、どのように対応した結果なのか伺う。 (2) 東側駐車場南側への出口増設について ① 完成の時期と運用開始の予定を伺う。 ② 費用は事業者負担になるのか伺う。 ③ 南側の道路はそのままか、拡幅もあるのか伺う。 2. 事業者（タイムズ 24 株式会社）から報告されて	市 長 教育長

(同)	10	渡 辺 ふさ子	いる収支実績について (1) 4月から11月までの利用料金収入の合計金額を伺う。 (2) 4月から11月までの経費の支出合計金額を伺う。 (3) 4月から11月までの収益金額について ① 収益合計金額を伺う。 ② 市は、市民の財産の市民会館駐車場を北側380台、東側490台分を貸し付けて、月106万円ほどの貸付料を得ている。 事業者は既に初期費用分を賄えていると思うが、事業者の収益金額について、どう捉えているか伺う。 ③ 他自治体（多賀城市、大河原町、白石市、蔵王町等）の有料駐車場と比較して岩沼市民会館駐車場料金は高いのではないかと伺う。 ④ 不適正な利用を防ぐためと言いながら、適正に利用している市民の負担が大きいのではないかと。料金引き下げについて、事業者と交渉してはどうか伺う。 (4) 4月から11月までの駐車場内のトラブルについて ① 件数及び内容を伺う。 ② 出庫の際にバーを折ったという事例を聞いているが、その際の市民の負担はどうなったか事業者から説明されているか伺う。 3. 竹駒神社は市の観光パンフレットに「東北最大級の稲荷神社」「平安時代から続く由緒ある神社」と紹介されており、岩沼市の代表的な観光スポットと言える。初詣は市外や県外からも参拝客が多く訪れ、大変なにぎわいであるため、例年、市民会館駐車場が解放され、シャトルバスが運行されてきた。しかし、来年の元日は通常どおり有料の運営になるとの回答がタイムズからあったと聞いている。竹駒神社としては参拝客に負担を求めるわけにもいかず、市民会館駐車場の利用はあきらめ、シャトルバスの待機場所もないことから、シャトルバスの運行も取り止めにせざるを得なかったという。影響について伺う。 (1) 毎年来ている人達に混乱が生じると思うが、観光行政を行う立場からどう考えるか伺う。	市 長 教育長
-----	----	---------	--	------------

(同)	10	渡 辺 ふさ子	(2) 市民会館駐車場に代わる駐車スペースを確保するために、新たに岩沼北中学校、週末びっくり市、TOYOTIRE(株)仙台工場の駐車場を借りることができたが、シャトルバスはないので参拝客は遠くから歩くことになる。参拝客が減り、また、岩沼市の評判も悪くなると考えられるがどうか伺う。 (3) 12月31日22時から元日の18時まで(最終17時30分神社前発)運行していたシャトルバスには1万人弱の乗車があったそうである。年に一度の初詣のにぎわいのために市として事業者に対し、対応の要請などを行うべきではなかったのか伺う。 (4) 大晦日、三が日の市民バス等の運行は終日運休になっている。市として元日の臨時バスの運行など、市民や参拝客の利便性を考慮し、寄り添う姿勢があるべきではないか伺う。	市長 教育長
3	7	高 橋 光 孝	<u>103万円の壁の見直しについて</u> 1. 103万円の壁の見直しについて (1) 103万円の壁が見直されると、宮城県では約810億円、仙台市は約300億円の減収が見込まれると試算されている。岩沼市においてはどの程度の減収になると想定しているのか伺う。 (2) 岩沼市において、見直しによる減収が生じた場合、行政サービスの縮小など、具体的にどのような影響が想定されるか伺う。 (3) 減収分について国からの補填がないまま見直された場合、市はその減収分をどのように確保していこうと考えているのか伺う。	市長
			<u>公共交通について</u> 1. 公共交通について (1) 市民バス、デマンドタクシー、AI乗合バスの各々の運行経費を伺う。 (2) 市民バス、デマンドタクシー、AI乗合バスの各々の乗車目標人数及び利用者数の現状、搭乗率を伺う。 (3) 市民バス、デマンドタクシー、AI乗合バスの各々の利用状況の結果をどのように評価しているのかを伺う。	市長

(同)	7	高 橋 光 孝	(4) デマンドタクシー、A I 乗合バスは誰も乗っていない光景をよく見かける。統合は考えられないのか伺う。	市 長
			<u>水道料金値上げについて</u> 1. 水道料金値上げについて 千葉県では2026年度をめどに約20%値上げ、新潟市では2025年から平均29%値上げすると発表した。全国的にも同じような動きが広がっていると言われている。岩沼市は突然の値上げになるようなことはないのか、将来の見込みを伺う。	市 長
4	3	大 村 晃 一	<u>企業や個人事業主等への支援と連携について</u> 1. チャレンジショップについて (1) これまでの状況について ① いわぬま市民交流プラザの開所に合わせる形で始まった取組だが、これまでの出店者数を伺う。 ② これまでの出店者のうち、実際に起業した件数及び事業を継続している件数を伺う。 ③ 本市として、これまで運営補助金の交付や、市の職員が対応を行うなど支援を行ってきたが、これまでのチャレンジショップの取組の成果や評価をどのように受け止めているのか伺う。 (2) いわぬま市民交流プラザ建設時の国からの交付金もあり、今後もチャレンジショップは継続していくと考えるが、現在のスペースの用途変更による活用の可否や縛りはどのようなになっているのか伺う。 (3) チャレンジショップスペース南側出入口について ① 非常口にもなっている南側のドアにロールスクリーンのようなものを常時下げている理由を伺う。 ② 現在チャレンジショップへ行くためには、事務室前のドアを通過して行くルートになっているが、チャレンジショップスペースに近い南側のドアを使用していない理由を伺う。 (4) 広報・PRについて ① 市としてのチャレンジショップ出店者の広報やPRの現状を伺う。 ② 市の各公共施設に設置してあるデジタルサ	市 長

(同)	3	大 村 晃 一	イネージなどでもPRを行ってはどうか伺う。 (5) 他の自治体のチャレンジショップなどでは、出店者が同じ市内の企業や個人事業主、子育て世代の方が作った作品などを委託販売しているところもある。本市もそのような手法を取り入れてチャレンジショップの出店者と連携を図りながら市内企業の商品や市民の作品をアピールする場としても活用してはどうか伺う。 (6) 2年間の制度利用期間を終了し、引き続き市内での事業継続に意欲がある場合は、ルールを設けた上で店舗などを構えるための助成などを行い、市内の店舗増へつなぐなど、まちづくりにつながる仕組みを考えてはどうか伺う。 2. 令和2年4月1日から施行された岩沼市中小企業・小規模企業振興基本条例について (1) これまでこの条例を生かした取組やそれに対する評価を伺う。 (2) 今後、条例を生かした取組や支援策についてどのようなことを考えているのか伺う。 (3) 令和8年にリニューアルオープン予定のハナトピア岩沼は子どもたちの遊び場がメインとなるが、条例を生かし、市内の中小企業や小規模企業と連携を取りながら、未就学児から小中学生まで幅広い子ども達を対象に職業体験的な企画の開催を検討してはどうか伺う。 (4) 他の自治体では、ふるさと納税返礼品開発等に対して同様の条例と紐づけした助成金の制度を設け、地元企業がふるさと納税返礼品目増につなげているところもある。本市も市内中小企業や小規模企業の意見も聞きながら、連携して取り組んでみてはどうか伺う。 (5) (仮称) 岩沼市中小企業・小規模企業振興基本計画を策定し、様々な目標値等を持ちながら、市内の中小企業や小規模企業等への支援や協力体制を構築してはどうか伺う。 3. 分煙施設の整備について (1) 本市の分煙施設整備状況を伺う。 (2) 令和6年度税制改正大綱においては、「望まない受動喫煙対策の推進や、今後の地方たばこ税の継続的かつ安定的な確保の観点から、駅前・商店街・公園などの場所における屋外分煙施設等の整	市 長
-----	---	---------	--	-----

(同)	3	大 村 晃 一	備について、地方公共団体がその重要性を認識し、地方たばこ税の活用を含め、民間事業者への助成制度の創設その他の必要な予算措置を講ずるなど積極的に取り組むよう、各地方公共団体の整備方針や実施状況等の把握を行いつつ、より一層促すこととする」と記載されている。本市においても市内の民間事業者などと情報交換を行い、分煙施設等の整備を検討してはどうか伺う。	市 長
5	1 5	長 田 忠 広	教育行政について 1. 本市教育委員会が公表した全国学力・学習状況調査結果の概要について 令和6年度全国学力・学習状況調査は、実施日が4月18日で、公表が7月29日だった。岩沼市教育委員会は10月に結果の概要を公表した。そこで、以下の点について伺う。 (1) 本市の令和6年度の結果を受けての感想を改めて伺う。 (2) 本市の教育行政は、仙台教育事務所の管轄である。今回の概要は仙台市を除く県内との比較になっているが、仙台市も含めた県内の比較はどのようなになっているか伺う。 (3) 仙台市も含めた県内での調査結果を受けて、次年度以降どのように目標値を設定するか伺う。 (4) 目標値到達のために次年度はどのように進めていくのか伺う。 2. 学力向上PDCAサイクルの確立に向けた5つの柱について 令和4年2月、宮城県教育委員会は各市町村教育委員会向けに学力向上マネジメント支援事業を推進してきた結果をもとに「学力向上PDCAサイクルの確立に向けた5つの柱」を示した。そこで、以下の点について伺う。 (1) 「学力向上を推進していくための中核的な組織づくり」について ① 今年9月定例会で「中核的な組織づくり」を提案したが、「新たな組織の立ち上げまでは考えておりません。」との答弁だった。しかしながら、やはり中核的な組織の立ち上げは大事であると考えます。改めて（仮称）岩沼市学力向上推進委員会を組織してはどうか伺う。 ② 今年9月定例会で「学校の実態を踏まえた学	市 長 教育長

(同)	15	長 田 忠 広	力向上推進プランの作成」を提案し、「今後、学力向上に向けてよりよいプランとなりますよう研究を進めてまいりたいと考えております。」との答弁だった。そこで検討状況を伺う。 (2) 「全国学力・学習状況調査の問題、調査結果を全職員で共有・授業改善」について 「具体的な授業改善や指導計画等へ反映させる。」となっているが、本市の取組を伺う。 (3) 「学力調査等による客観的データに基づいた検証・指導対策」について ① 本市の取組を伺う。 ② 児童・生徒一人一人のつまずきを把握するため、4月と12月に独自の標準学力調査を実施してはどうか伺う。 (4) 「学習のつまずきを解消する時間・期間の設定」について 今年9月定例会で質問し、「個別最適な学びを取り入れた授業では、教員が示した課題に対して、一人で学習を進める、友達と確認しながら進める、先生と確認しながら進める等の手段を子どもたち自らが選択して、つまずきの解消につなげることができると考えております。」との答弁だった。そこで、本市の具体的な取組と成果を伺う。 (5) 「学びの系統性・連続性を重視した小中連携の推進」について 「共通の目標設定、授業と連動した家庭学習の取組など、学びの連続性を重視した小・中連携を推進する。」とあるが、本市の取組を伺う。 3. 「個別最適な学び」と「協働的な学び」について GIGAスクール構想により全ての児童・生徒一人一人に整備された端末を活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させていくことが重要である。しかし、児童・生徒の特性や学習進度、学習到達度などに応じた多様な学習において、一人一人に合った学びを行わせることの難しさもあると思う。そこで、以下の点について伺う。 (1) 本市の取組を伺う。 (2) 個々の児童・生徒の理解度や習熟度に応じて一人一人のペースで学習できるAI型教材を採用してはどうか伺う。 (3) 今年9月定例会で小学生対象の放課後学び塾	市 長 教育長
-----	----	---------	--	------------

(同)	15	長 田 忠 広	の開催を提案し、「中学校で一定の成果が得られていることから、小学校での実施について研究を進めてまいります。」との答弁だった。そこで、検討状況を伺う。 4. 教育支援パッケージの作成について 本市は「こども・子育て支援パッケージ」を軸とする子育て支援を行っているが、子育てには教育支援も大切である。そこで、こども・子育て支援パッケージとともに「教育支援パッケージ」を作成してはどうか伺う。 5. 小・中学校の授業数の在り方について 小・中学校の年間の標準授業数は、学校教育法施行規則で学年ごとに定められている。小学4年生以上と中学校の総授業時数は年間1,015単位時間（1単位時間は小学校45分、中学校50分）とされており、学習指導要領では、授業を「年間35週以上にわたって行う」と明記されている。 中央教育審議会の特別部会が8月27日にまとめた答申では、年間を通じて教員の業務の偏りをなくす観点から「必ずしも週29単位時間の授業を実施する必要はない」との見解を示した。そこで、以下の点について伺う。 (1) 本市の小中学校の週の授業数を伺う。 (2) 中央教育審議会の特別部会が8月27日にまとめた答申を受け、どのように考えるか伺う。 (3) 気仙沼市や茨城県守谷市は柔軟な対応を取っているが、参考にして検討してはどうか伺う。	市 長 教育長
6	4	高 梨 明 美	<u>ハナトピア岩沼のリニューアルについて</u> 1. 事業費の財源について 総事業費8億円、財源についてはデジタル田園都市国家構想交付金から2億円、企業版ふるさと納税から5,000万円を見込んでおり、他については模索しているとの説明があった。 (1) 改めて財源確保の現状を伺う。 (2) どのような財源を検討しているのか伺う。 (3) クラウドファンディングを活用してはどうか伺う。 (4) ネーミングライツを導入してはどうか伺う。 2. 有料部分の遊び場について (1) 水遊びゾーンについて ① ウォーターパーク遊具の対象年齢が3～6	市 長

(同)	4	高 梨 明 美	歳となっているが、対象年齢以外の子どもの水遊びについてはどのように考えているのか伺う。 ② 3歳未満の子でも遊べる水遊び場を設置してはどうか伺う。 (2) すなばコーナーについて ① すなばテラスと砂場ゾーンのすみ分けについてどのように考えているのか伺う。 ② 衛生面の対策について伺う。 (3) 暑さ対策について ① 暑さ対策について伺う。 ② 直射日光を和らげる屋根を水遊びゾーンに設置してはどうか伺う。 3. 営業時間について (1) どのように検討しているのか伺う。 (2) 営業時間や利用できない遊具の周知方法について伺う。 4. 安全対策について (1) AED設置について ① 設置場所と設置台数を伺う。 ② AED付自動販売機を設置してはどうか。 ③ 使用時のプライバシーへの配慮のため、パーティションやAEDボックス内に格納できるプライバシー保護用三角巾を配備してはどうか伺う。 (2) 救護室の設置について伺う。 (3) 緊急車両の対策を伺う。 (4) 見守り体制について ① 安全対策について伺う。 ② (仮称) ハナトピア岩沼サポーターを立ち上げ、見守り体制を強化してはどうか伺う。 5. 紙おむつ自動販売機の設置について、見解を伺う。 6. 中央花壇をステージのようにして、イベントなどに活用してはどうか伺う。	市 長
			5歳児健診について 発達障害の早期発見により、家庭はもちろん学校でも当事者に配慮したサポートが可能となることから、スムーズに学校生活をスタートさせる上で5歳児健診の役割は大きいと考える。 1. 本年2月定例会での5歳児健診の導入についての質問に対し、「現時点での導入は考えていないが、	市 長

(同)	4	高 梨 明 美	実施自治体の取組状況など情報収集していく。」との答弁であった。その後、どのように情報収集したのか伺う。 2. 早期に導入すべきと考えるが、見解を伺う。	市 長
7	1 1	佐 藤 一 郎	<u>がん検診における胃の内視鏡検査について</u> 1. 令和5年3月に閣議決定された第4期がん対策推進基本計画では「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す。」とある。令和5年度及び令和6年10月までの胃がん検診件数、検診内容について伺う。 2. 仙台市の50歳以上の国保加入者は胃がん検診での胃内視鏡検査を無料で受けられる。また、国保加入者以外は3,500円で受けることができる。名取市では、今年4月から60歳から68歳の偶数年齢の人を対象に内視鏡検査を開始し、検査料は5,000円、生活保護受給者は無料となっている。胃内視鏡検査についてどのように考えているのか伺う。 3. 令和4年12月定例会において、40歳以上から5年刻みで限定した人数での検診に対応した体制づくりについて伺ったところ、「最短でも2年から3年と見込んでいます。」との答弁であった。 (1) 答弁から2年経過した現在の検討状況について伺う。 (2) 周辺自治体も胃がん検診において内視鏡検査を実施している。市長の見解を伺う。	市 長
			<u>仙台空港アクセス線延伸について</u> 1. 令和6年11月29日の議員全員協議会において、仙台空港鉄道㈱から減資についての説明があった。今後の仙台空港アクセス線の延伸について伺う。 (1) 議員全員協議会での説明では、仙台空港鉄道㈱の減資や運賃の改定等により収益性の向上と経営の安定化を図るとのことであった。また、その中で県土木部空港臨空地域課長からは覚書のとおり岩沼市への延伸の実現に向けてしっかり取り組むと答弁を頂いた。覚書のアクセス線延伸ルートを変更し、建設しやすいルートにしてはどうか伺う。 (2) アクセス線延伸によって仙台空港と地域が共生し、さらなる発展を進められるようになるかと考えるが、市の考えを伺う。 (3) 減資を受け、仙台空港鉄道㈱の取締役委員会にお	市 長

(同)	1 1	佐 藤 一 郎	いて、アクセス線延伸について市長はどのように発言するのか伺う。	
8	1	岡 田 みつえ	<u>誰一人取り残さない教育について</u> 1. 不登校対策について (1) 岩沼市における不登校児童・生徒の現状を伺う。 (2) 関係機関とつながりのない不登校児童・生徒の現状を伺う。 (3) (1)(2)を受け、不登校対策の取組と成果を伺う。 (4) 長期休業明けの不登校児童・生徒の対応を伺う。 (5) 県の児童生徒支援ネットワーク事業について、岩沼市の対応を伺う。 (6) 保護者向けに不登校のお子さんが歩むプロセスや相談先・支援機関などを紹介する「家庭用ハンドブック」を作成してはどうか伺う。 2. いわぬま子どもの心のケアハウス「あいる一む」について (1) 令和5年度の活動と実績を伺う。 (2) 現在一部屋（研修室2）で児童・生徒の学習スペースと職員の職務スペースが一緒になっていて手狭な状態が続いている。「あいる一む」で利用できるスペースの拡大が必要と考える。また、交通が不便な点からも市内中心部等への移転を考えるべきと思うが見解を伺う。 (3) 家庭等への訪問指導員の派遣について、「あいる一む」の職員を増員するなど、アウトリーチの対応を充実させてはどうか伺う。 3. 「学び支援教室ほっとルーム」について (1) 令和5年度の活動と実績を伺う。 (2) 令和6年6月定例会で「全中学校に設置できるよう強く要望してまいりたい。」との答弁があったが、現況を伺う。 (3) 県の加配が厳しい場合、市独自の対策を検討してはどうか伺う。 4. 子どもの居場所づくりに取り組む「民間団体」への支援について (1) 保護者の負担軽減のために対象児童・生徒の送迎や課外活動での移動で、市民バスを利用する際の交通費の補助を検討してはどうか伺う。 (2) 子どもの居場所マップを作成し、全小中学生に	市 長 教育長

(同)	1	岡 田 みつえ	配布してはどうか伺う。 5. 個別の支援が必要な児童・生徒への支援について (1) 岩沼市の特別支援教育の現在の支援状況を伺う。 (2) 他自治体では、適切な支援・指導につなげる特別支援教育ソフトを導入している。岩沼市でも導入を検討してはどうか伺う。	市 長 教育長
9	13	飯 塚 悦 男	<u>みやぎの環境保全米について</u> 1. 日本農業の30年先を見据えた長期的ビジョン「みどりの食料システム戦略」は、農業による環境負荷の低減と生産基盤の強化を目指し、2050年までに農林水産業のCO2排出「実質ゼロ」、有機農業を全農地の25%（100万ha）に拡大、化学農薬の使用量をリスク換算で50%低減、化学肥料の使用量30%減などの目標を掲げている。また、12月8日は「有機農業の日」でもある。宮城の自然豊かな環境を守るために、農薬、化学肥料を県の標準的使用量の半以下にして、自然と人間の力を合わせて生産されている米として、「みやぎの環境保全米」があるが、環境保全米生産者に対し助成制度を設けてはどうか、市長の考えを伺う。 2. 保育所にも環境保全米を提供することが子育て支援にもつながると考える。市長の考えを伺う。 3. 環境保全米生産者には「田んぼの生き物調査」が求められている。学校教育での「環境教育」、「食農教育」などに活用できるのではないかと思うが、教育長の考えを伺う。	市 長 教育長
10	9	布 田 恵 美	<u>岩沼市デジタル化推進計画について</u> 令和3年9月に策定した「岩沼市デジタル化推進計画」について、来年度が最終年度になることから進捗と課題を伺う。 1. 当市におけるデジタル化に向けた基本方針の方向性について (1) 市民サービスの利便性向上への取組について ① 具体的な取組について伺う。 ② 成果を伺う。 ③ 今後の見通しを伺う。 (2) 新たな価値の創造・共創において取り組んできたことについて ① 具体的な取組について伺う。 ② 成果を伺う。	市 長

(同)	9	布 田 恵 美	③ 今後の見通しを伺う。 (3) 全市民への恩恵享受について ① 具体的な取組について伺う。 ② 成果を伺う。 ③ 2022年から2024年にかけて市の主催でスマホ教室を実施してきた。成果についてどのように分析しているのか伺う。 ④ 計画にも含まれているように、デジタルデバイドの解消は急務であり、欠かせぬことであるとする。今後、出前講座の開催を希望する町内会や自治会単位を対象に集会所等で「スマホ教室」を実施するに当たり、講師派遣や開催経費への補助を考えてはどうか伺う。 2. 計画によると、令和7年度は、デジタル化達成年度として「デジタル文化の定着」とある。その一環として、各種配布物、また返信に関して、これまで以上に積極的なペーパーレス化を進めるべきと考える。 会議や行事の通知、それらに関する出欠の返信などにグーグルフォームなどの活用を推進していくべきではないか。見解を伺う。	市 長
			困難な問題を抱える女性への支援について 今年4月、「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」（以下、女性支援新法）が施行された。支援法は、差別や暴力など構造的な問題から発生した困難を抱える女性に対し、福祉、医療保険、労働、住まい、教育など、必要な支援を講ずる責務が国と自治体にあることを定め、当事者の人権尊重を軸にしている。岩沼市の取組状況について伺う。 1. 厚生労働省によると、女性支援事業では、『女性支援新法に基づき、「女性の福祉」「人権の尊重や擁護」「男女平等」といった視点に立ち、困難な問題を抱える女性一人一人のニーズに応じて、本人の立場に寄り添って、切れ目のない包括的な支援を行います。』とあるが、当市が取り組んでいる現状を伺う。 (1) 問題解決のためのワンストップ化が大きな柱となるが、当市として取り組む担当部署の設置状況等について伺う。 ① 担当部署の設置と女性相談支援員の配置について伺う。	市 長

(同)	9	布 田 恵 美	② 相談支援員の継続や処遇はどうか伺う。 (2) 当市のホームページで検索しても女性支援新法に関連する詳細が見当たらなかった。その点について認識を伺う。 (3) 宮城県は「困難な問題を抱える女性及びDV被害者等への支援並びにDV防止に関する基本計画」を策定している。その中での「5 推進・体制」において「困難な問題を抱える女性及びDV被害者の相談・保護、更に自立に向けた切れ目のない支援体制を構築するため、市町村の役割が一層重要なものとなっていることから、あらゆる機会を捉えて市町村における取組の促進と連携強化を図っていきます。」と掲げている。県との連携体制について伺う。	市 長
1 1	8	大 友 健	<u>「区長制度」について</u> 1. 改めて区長の業務について伺う。 2. 改めて区長に支給される報償費について伺う。 (1) 報償費とは何か。 (2) 報償費の典型的な支出の事例を 10 件ぐらい例示してほしい。 (3) 具体的な役務（市が得た利益）がなくても報償なのか。 (4) 広報を配布していない区長がいると市は認めているが、それでも区長に対し、報償費として謝礼を支払うのか。改めて伺う。 3. 今年の 9 月以降の区長会の動きについて (1) 9 月下旬の意見交換会の結果を伺う。 (2) 区長を出せない行政区の「合区」について伺う。 (3) 10 月下旬の北上市での聞き取りについて ① 目的は何だったのか。また、参加者人数を伺う。 ② その結果は、どのようにまとめられたのか内容を伺う。 4. 区長制度アンケートについて (1) 存続・廃止の件数など、結果を伺う。 (2) 文書配布の欄にある民間委託とはどういう意味か。非常勤特別職公務員ではない単なる私人に対して既に民間委託（委嘱）しているのではないか。 (3) 「自治振興業務に位置づけ」とは、どういうことか。広報の配布を町内会と契約する考え方なの	市 長 監査委員

(同)	8	大友 健	か。 (4) 報償費の支払い先が町内会長とはどういう意味か。町内会長が区長になるのか。 (5) 区長制度の廃止を選択する区長が比較的多いのを市はどう受け止めるのか。 5. 区長制度の廃止と町内会（自治会）の組織強化について考えを伺う。 (1) 町内会（自治会）の組織強化について ① 人的資源として、区長が町内会の役員になってはどうか。 ② 区長を廃止し、町内会と広報配布の契約をすることで、財政基盤を強化する一助にならないか。 (2) コミュニティ増進のための方策として制度廃止を行ってはどうか伺う。 (3) 経費の有効活用のための行革推進として制度廃止を行ってはどうか伺う。 (4) 市の政策として区長制度廃止の裁断を下してはどうか伺う。	市長 監査委員
1 2	6	佐藤 剛太	<u>岩沼市の教育について</u> 1. 学校教育について (1) 文部科学省が行った 2023 年度の「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の調査結果において、宮城県の不登校児童生徒数が全国最多となった。本市の状況を伺う。 ① 暴力行為の発生件数及び傾向を伺う。 ② いじめの認知件数及び傾向を伺う。 ③ 不登校率及び傾向を伺う。 (2) 令和 6 年 6 月定例会において、同様に学校教育について質問を行った。様々な課題に対する問題提起を行ったが、現状まだ解消できていないことについて伺う。 ① 課題解消に向けて現在されている取組を伺う。 ② まだ取り組めていない課題について、今後の見通しを伺う。 (3) 課題が多いのが現状だが、「子育て支援」をまちづくりの柱に掲げる本市において、課題解消に対してどのようなことを行えばいいと考えるか、市長の見解を伺う。 (4) 教職員などの人員の増員について	市長 教育長

(同)	6	佐藤 剛太	① 教職員の負担軽減によって子どもたちと接する時間を増加させることが、様々な問題の解消につながると考えるが、見解を伺う。 ② 教職員の負担軽減や児童・生徒の不安や悩みをフォローするには、教員や指導助手・特別支援員などの増員が必要ではないか伺う。 ③ 中学校でも 35 人の少人数学級の導入が必要と考えるが見解を伺う。 (5) 未就学児の支援に加えて、小・中学校の学校教育を充実させることが、今後本市が目指す「子育てNo. 1のまちづくり」に必要なだと考えるが、見解を伺う。 2. 休日部活動の地域移行について (1) 本市は、令和7年度10月から休日部活動の地域移行の実施を目標としているが、地域移行されていない種目も多いのが現状である。中総体の大会前の練習試合などを臨んでいる生徒や保護者の声も多く聞く。そのためにはコーチバンクの増員を必要と考えるが、見解を伺う。 (2) コーチバンクに登録する教員を増加して、部活動の事業委託先より、兼職兼業として報酬を受けながら部活の指導を行うことで、休日部活動の受け皿を作ることができると思うが、見解を伺う。 3. 自主学習の推進について 放課後、図書館や西コミュニティセンターなどの公共施設において、自主学習を行う中高生が多くいるが、中学生は施設ごとで利用時間が異なっている。多くの中高生が利用できるような施設の開放と時間の見直しが必要ではないか伺う。	市長 教育長
			<u>ハナトピア岩沼のリニューアルについて</u> 1. この施設を整備する目的とコンセプトを伺う。 2. 令和8年4月の開園までのスケジュールについて (1) 議案(予算等)の議会上程の時期について伺う。 (2) 設計の完成について伺う。 (3) 工事発注について伺う。 (4) 完成時期について伺う。 3. 事業費について (1) 総事業費について伺う。 (2) 財源について伺う。 (3) 建設・整備費及び整備内容について	市長

(同)	6	佐藤 剛太	① 遊び場整備（有料部分）について伺う。 ② 屋外整備について伺う。 ③ 農産加工施設整備について伺う。 ④ 飲食および物販施設について伺う。 4. 運営について (1) 入園料・入場数について見込みを伺う。 (2) 指定管理料について伺う。 (3) 飲食及び物販施設について伺う。 (4) 農産加工施設について伺う。 (5) 雨天時の対応や熱中症などへの対策を伺う。 5. 交通渋滞など周辺住民への対策について伺う。 6. 産業振興課が担当しているが、この施設のオープンを契機に本市の観光などの産業振興につなげていくのか伺う。	市長
-----	---	-------	--	----